

8月19日

05



約1,200人が参加し、熱意を結集

早期開通目指し決起大会

市文化会館で東九州道「日南～串間～志布志」間の建設促進に向けた総決起大会が行われました。3市の高校生による意見発表では、若者目線で高速道路の必要性を訴えました。他にも講演や早期完成を求める大会決議の採択などがあり、早期開通に向けて機運を高めました。

福島高校2年生
やすなかりょう
安永 遼さん

意見発表は緊張したけど、しっかり伝えられたと思います。串間の将来を考えたとき、高速道路は必要不可欠。早く開通してほしいです。

8月3日

04

石波海岸で子ガメを放流

市木の石波海岸でアカウミガメの放流体験がありました。市木小の児童ら約30人が参加し、子ガメを送り出しました。朝にふ化した38匹の子ガメを子どもたちは手に取り、興味深そうに観察。その後、一斉に海に向かって放流し、懸命に海を目指す子ガメを見送りました。



子ガメを放流する子どもたち

市木小学校6年生
にしおか りみ
西岡 璃海さん

台風の影響で海が荒れていて大変だろうなと思います。それでもまた大きくなって市木の浜に帰ってきてほしいです。

8月20日

06



土をかけ分け収穫する参加者

大きいお芋に参加者大満足

大束地区・矢床の畑でいも掘り大会がありました。JA串間市大束青年部が毎年開く恒例のイベントに市内外から約300人が参加。参加者たちは、開始の合図とともに畑に入ると、土をかき分け、赤紫色に色づいた甘藷を次々とビニール袋へ入れ、収穫を楽しんでいました。

宮崎市在住
よしだ かお
吉田 楓音くん

暑い中大変だったけど大きい芋が採れました。芋料理では天ぷらが好きなので、家に帰って食べるのが楽しみです。

7月23日

01



出店が並び多くの人でにぎわった

恒例あたご祭りにぎわう

仲町通りで夏の恒例行事『あたご祭り』がありました。祭りに合わせ、火伏せの神様として吉松家住宅の敷地内に祭られている愛宕神社も開放。多くの人が参拝に訪れていました。また、歩行者天国となった通りには、出店が立ち並び、家族連れや子どもたちでにぎわっていました。

8月2日

03



ニジマスのつかみ取りを楽しむ子どもたち

釣りにつかみ取りで歓声

桂原親水公園でニジマス釣り大会が開催され、子ども会会員約70人が参加しました。市淡水漁業協同組合協力のもと、河川プールにニジマス200匹を放流。子どもたちは釣りやつかみ取りを楽しみ、ニジマスを捕まえるたびに歓声が上がっていました。

福島小学校3年生
かわさき けんしん
川崎 堅心くん

ニジマスを4匹捕まえました。初めてのつかみ取りだったけど楽しかったです。また来年も参加したいです。

くしま プレイバック

7月23日～8月20日

まちで起こったあんなことやこんなこと。
串間の1カ月を振り返ります。

都井小学校
やまもと りく
山本 凌功くん(5年)・坂ノ上 大吾くん(3年)

毎年あたご祭りには来ています。人がたくさんいてすごく楽しい雰囲気。夏休みのいい思い出になりました。

7月25日～28日

02

地元食材使い料理に挑戦

串間の農産物のおいしさを知ってもらおうと、福祉センターで学童料理教室が開かれました。千種保育所やりんぼかん保育園などの学童保育に通う児童計134人が参加。食育ティーチャーや女性農業団体「きらり☆くしま」のメンバーと一緒に、串間産食材を使ったカレー作りに挑戦しました。



慣れない手つきでカレー作りに挑戦

福島小学校3年生
かわの りり
川野 理李さん

ちりめんとゴーヤの酢の物を作りました。野菜を切るのが難しかったけど楽しかったです。ゴーヤは好きなのでおいしかったです。

福島港花火大会 夜空彩る4000発

8月12日、福島港で夏の一大イベント『第34回福島港花火大会』がありました。約4,000発の花火が打ち上げられ、串間の夏の夜空を華やかに彩り、詰め掛けた観衆を沸かせていました。打ち上げ前には、ステージイベントもあり、会場を盛り上げていました。



夜空を華やかに彩る

TOPIC